

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ 公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によ り電子公告ができない場合は、日本経済新 聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等に なります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取り扱いできま せんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右 の[特別口座の場合]の郵便物 送付先・電話お問い合わせ先・ 各種手続お取扱店をご利用 ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買 増以外の株式売買はできません。証券会 社等に口座を開設し、株式の振替手続き を行っていただく必要があります。

●株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。 このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。	
【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】 法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。 【主な支払調書】 *配当金に関する支払調書 *単元未満株式の買取・買増請求など株式の譲渡取引に関する支払調書	【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】 ●証券口座にて株式を管理されている株主様 お取引の証券会社までお問い合わせください。 ●証券会社とのお取引がない株主様 下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-84-0178

第75期
株主通信 [中間報告書]

平成27年4月1日～平成27年9月30日



基本理念 Philosophy

- 1 わが社は、世界水準の製品を創り出すことにより、持続的な成長を遂げ、永遠の存在を目指す。
- 2 わが社は、有意義な製品とサービスを提供することにより社会に貢献する。
- 3 わが社は、国際社会に共生する一員であることを意識するとともに、法規等を遵守し、環境保全に努力する。
- 4 わが社は、すべての関係者・機関に調和のとれた満足を提供することを目標とする。
- 5 わが社は、互いの価値を認め合う人々の集団であり、熱意をもって向上・革新へ挑戦していく。

Our Products

平河ヒューテックの製品



各種デジタルインタフェースケーブル



電源コード



超音波内視鏡用ケーブル



放送用光波長多重伝送装置



ネットワーク用光波長多重伝送装置



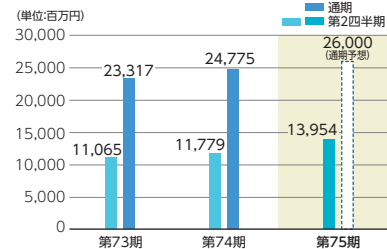
医療用補強材入りチューブ(体内使用)



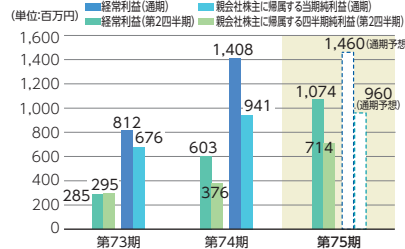
医療用多孔精密チューブ(体内使用)

連結財務ハイライト Financial Highlights

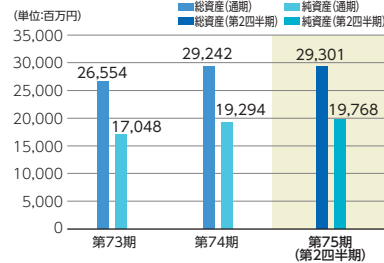
●売上高



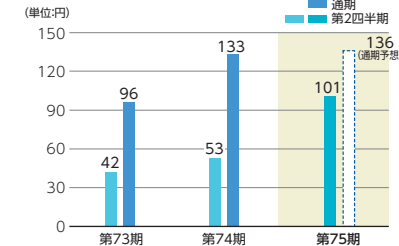
●経常利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



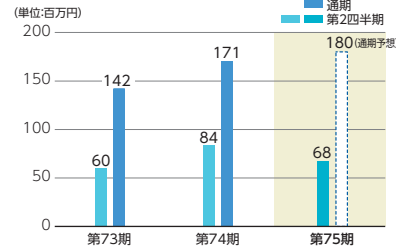
●総資産／純資産



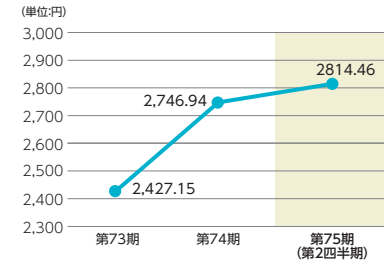
●1株当たり四半期(当期)純利益



●研究開発費



●BPS(1株当たり純資産額)



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

株主の皆様へ To Our Shareholders



代表取締役 社長 目黒 裕次

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。第75期の株主通信〔中間報告書〕をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、センシング、M2M市場やエネルギー産業関連市場の需要が引き続き拡大基調で推移しました。

このような事業環境下において、当社グループでは、第75期の年度方針として、『最後までやり抜き、必ず実現しよう』を掲げ、新市場の攻略、新事業の追求及び新製品の創造に対して、迅速な意思決定とグループ全体の効率を上げ、市場の開拓に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は139億54百万円(前年同期比18.5%増)となりました。売上高の増加及び生産性の改善等により営業利益は10億69百万円(同114.0%増)、経常利益は10億74百万円(同77.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は7億14百万円(同89.7%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき11円とさせていただきます。

役員・従業員一同、一層の努力をしてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

● 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)			(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (平成27年9月30日現在)	前期 (平成27年3月31日現在)	科 目	当第2四半期 (平成27年9月30日現在)	前期 (平成27年3月31日現在)
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流動資産	17,426	17,080	流動負債	5,919	5,964
現金及び預金	3,935	3,907	② 固定負債	3,613	3,983
① 受取手形及び売掛金	7,741	7,477	負債合計	9,532	9,948
たな卸資産	4,791	4,795	(純 資 産 の 部)		
その他	957	900	株主資本	17,680	17,049
固定資産	11,874	12,161	資本金	1,555	1,555
有形固定資産	9,297	9,517	資本剰余金	1,459	1,459
無形固定資産	171	170	利益剰余金	17,005	16,375
投資その他の資産	2,405	2,473	自己株式	△2,339	△2,339
資産合計	29,301	29,242	その他の包括利益累計額	2,088	2,244
			純資産合計	19,768	19,294
			負債、純資産合計	29,301	29,242

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より、「少数株主利益」は「非支配株主に帰属する四半期損失」に、「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

● 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期 (平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	13,954	11,779
売上原価	11,075	9,519
売上総利益	2,879	2,259
販売費及び一般管理費	1,809	1,760
営業利益	1,069	499
営業外収益	47	122
営業外費用	42	18
経常利益	1,074	603
③ 特別利益	99	—
④ 特別損失	149	35
税金等調整前四半期純利益	1,023	568
法人税、住民税及び事業税	402	238
法人税等調整額	△93	△42
非支配株主に帰属する四半期純損失	—	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	714	376

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期 (平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,077	878
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243	△537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△784	△477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1	49
現金及び現金同等物の期首残高	3,904	3,324
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	36	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,939	3,374

POINT①

「受取手形及び売掛金」は、前期末比2億64百万円の増加となりました。主な要因はエネルギー産業関連品等の売上が好調に推移したことによるものです。

POINT②

「固定負債」は、前期末比3億70百万円の減少となりました。主な要因は、「長期借入金」の返済が進んだことによるものです。

POINT③

「特別利益」99百万円の主なものは、固定資産売却益98百万円で、静岡県森町の土地等を売却したことによるものです。

POINT④

「特別損失」149百万円の主なものは、事業構造改善費用72百万円で、福泰克(深圳)電子有限公司の工場縮小に伴う設備移転費用等であり、50百万円は台風18号によって被害を受けた古河事業所の復旧費用等であります。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

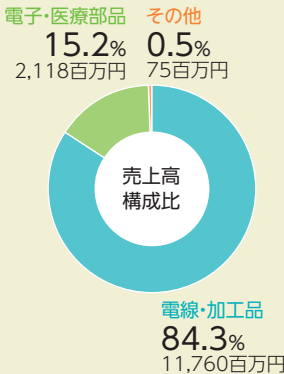
セグメント情報

電線・加工品

エネルギー産業関連ケーブル、デジタル機器用ケーブル、半導体製造装置関連ケーブル及び車載用ケーブルの売上が好調に推移したことにより、売上高は117億60百万円(前年同期比20.8%増)となりました。新分野での売上高の増加及び生産性の改善等により、セグメント利益は10億61百万円(同87.0%増)となりました。

電子・医療部品

エネルギー産業関連デバイス品及びネットワーク機器の売上は好調に推移しましたが、医療用特殊チューブの売上は微減となり、売上高は21億18百万円(前年同期比7.7%増)となりました。新分野での売上高の増加及び生産性の改善等により、セグメント利益は2億32百万円(同47.8%増)となりました。



1. CPSによる産業革命

“私たちの生活の中(現実世界<Physical>)のセンサーネットワークなどで得られたビッグデータをサイバー空間(仮想世界<Cyber>)のコンピューティングシステム能力にて蓄積・可視化・解析・モデリングし、最適解を現実世界にフィードバック(制御・サービス)する。”

このような「データ駆動型社会」のプラットフォーム構築に向けた動きが世界レベルで始まっております。また、将来的には人工知能(AI)を利用した価値創造や完全自律・自動化により、さらなる社会変革が生み出されると言われております。

2. 「データ駆動型社会」実現へ向けた当社の取り組み

CPSの発端となったといわれているのが、ドイツの国家戦略「INDUSTRY4.0」です。これは、「スマートファクトリー(考える工場)」がコンセプトで、膨大なデータを利用し製品のライフサイクル管理や工場のフルオートメーション化を実現する取り組みです。

これらの基礎となるデータの伝送方法は、メタルケーブル、光ケーブル及びエアー(Wi-Fi等)の3種です。

このような「データ駆動型社会」の中では、ネットワークを落とさないこと及びコスト面を含め効率的なネットワークの構築が不可欠です。当社グループは、Wi-Fiをベースにした落ちないネットワーク「NerveNet」や大容量のデータを効率的に伝送するネットワーク機器、スイッチングハブ等により、このCPSによる産業革命をひとつのチャンスと捉え事業を進めていく所存です。

仮想(サイバー)世界

データの蓄積・可視化・解析・モデリング



ネットワーク 3G LTE Bluetooth WiFi VPN

現実(フィジカル)世界

M2M、センシング

データ収集

エネルギー

科学データ

工場

交通

医療



制御・サービス

3. EV・PHEV充電器事業の本格化

自動車の分野で電気自動車(EV)、プラグインハイブリッドカー(PHEV)の普及が進んでいます。

当社グループはこの事業領域でAC普通充電器事業を行っております。

政府は、2020年までに200万基普及させることを目標とした充電ステーション等のインフラ事業に取り組んでおります。

今期、普通充電器の製品認証を日本自動車研究所より取得し、大手不動産事業者が手がける大型店舗の駐車場への設置案件や充電の単機能の製品のみならず、クラウドサービスや課金機とつなげたシステム構成をお客様のニーズを踏まえてご提案するなど、今期、事業を本格化させ更なる事業拡大に取り組んでおります。

※本充電器は、「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」の補助金対象製品です。



EV・PHEV用 AC普通充電器

●会社概要

商号	平河ヒューテック株式会社 HIRAKAWA HEWTECH CORP.
設立	昭和23年9月
資本金	15億5,507万760円
従業員数	2,646名(連) 368名(単)

役員氏名

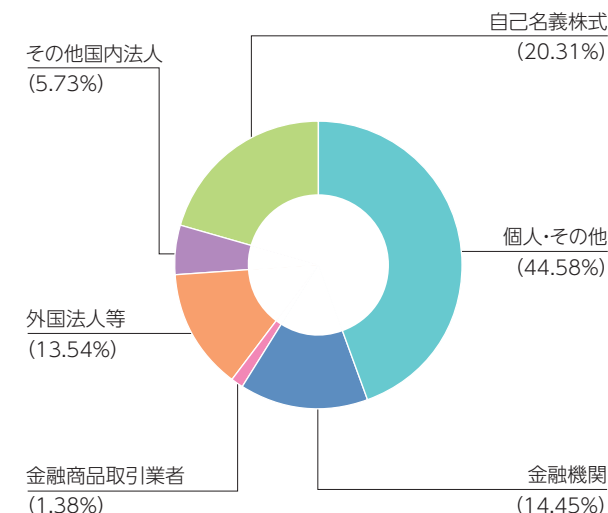
ヒューテックグループ代表取締役会長	隅田和夫
代表取締役社長	目黒裕次
取締役	宇梶大
社外取締役	湯佐富治
社外取締役	沼田恵
常勤監査役	武藤昇
社外監査役	阿部博
社外監査役	江部安弘

執行役員	木村正紀
執行役員	椎名祐一郎
執行役員	石戸隆雄

●ヒューテックグループ

海外拠点	国内拠点
● 連結子会社(製造) HIKAM ELECTRONICA DE MEXICO, S.A. DE C.V. HIKAM TECNOLOGIA DE SINALOA, S.A. DE C.V. 福泰克(深圳)電子有限公司 HEWTECH (THAILAND) CO., LTD. HEWTECH PHILIPPINES CORP. ● 連結子会社(販売) HIKAM AMERICA, INC. 上海河拓克貿易有限公司 福泰克香港有限公司 台湾福泰克股份有限公司 HEWTECH (BANGKOK) CO., LTD. ● 連結子会社(製造・販売) 福泰克(連雲港)電子有限公司	● 本社 ● 営業拠点(営業所) 営業本部 東北営業所 北関東営業所 中部営業所 関西営業所 ● 開発・生産(工場・事業所) 古河事業所 桃生工場 福島工場 新潟工場 ● 連結子会社(製造・販売) 四国電線株式会社 株式会社新潟電子

●所有者別株式分布状況



当社ホームページのご案内

<http://www.hewtech.co.jp/>

IR情報をはじめ、当社をよりご理解いただくための情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。